

むくのきだより



1月号 令和2年1月8日 港区立赤羽幼稚園長 宮崎 直人

大切にしたい日本の伝統・文化

園長 宮崎 直人

新年明けましておめでとうございます。昨年は、本園の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたことを心よりお礼申し上げます。また、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。

今日から3学期が始まり、にぎやかな声が幼稚園に戻ってきました。子供たちが登園し、元気に挨拶をする姿や子供たちの生き生きとした表情から、充実した冬休みを過ごすことができたことが分かりました。また、大きな事故やけがもなく過ごすことができました。保護者や地域の皆様方のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

12月17日(月)に、昨年に引き続き、作家の郡司ななえ先生が、盲導犬のフローラちゃんと共に、幼稚園に来てくれました。ゆり組の子供たちは2回目です。1回目のときよりも、郡司先生の生活に関する質問をたくさんしていました。さくら組は初めてでしたが、目が見えない生活や盲導犬のお話に熱心に耳を傾けていました。特に、フローラちゃんには、目が釘付けになっていました。

さて、年末・年始には、日本に古くから伝わる行事が様々ありました。

12月6日(金)は、幼稚園でもちつき会を行いました。皆、やる気満々で、「よいしょ！よいしょ！」と言いながら、楽しく、力強くお餅をつくことができました。その後、お餅をおいしくいただきました。どの味も好評で、おかわりをしている子が大勢いました。何日も前から準備をしてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

冬休みに入ってから、除夜の鐘を聞き、お正月には初詣に行った子も多いのではないのでしょうか。門松、鏡餅、しめ縄等のお正月飾りや餅つき、年越しそば、おせち料理、七草粥といった食事を楽しんだり、凧揚げ、こま回し、羽根つき、かるた、双六、お手玉等のお正月遊びを楽しんだりした子供たちもいることと思います。中でも「こま回し」は、12月から幼稚園の皆で取り組んでいます。

ゆり組は、「投げごま」に挑戦しています。紐を巻くのがなかなか難しいのですが、コツを教えると、集中して丁寧にこまに巻いて、ちょっぴりドキドキしながら回していました。こまを使い始めた初日に、9人も回すことができ、驚きました。その後、回すことができる子供たちがどんどん増えて、今月中には、「けんかごま」(子供たちは、バトルと言っています。)ができそうな雰囲気です。さくら組は、「引きごま」を回し、長く回すことを競ったり、回る様子を見たりして楽しんでいました。思い起こせば、私も40数年前、こま回しに夢中になっていたものです。子供たちと一緒に楽しみながら、その当時の頃を思い出しました。うまく回らなくても、何度も何度も練習して、できるようになったときの喜びはひとしおでした。赤羽幼稚園の子供たちにも、一生懸命練習し、夢中になって遊ぶ経験をしてほしいと思っています。子供たちとバトルができるのが楽しみです。

1月9日(木)には、毎年幼稚園に来てくださっている「獅子舞・お囃子の会」の方の協力を得て、獅子舞等に親しむ機会をつくります。今年は、小学校の講堂で、幼稚園の園児と小学校の児童が一緒に見ます。このような機会を通して、子供たちが日本の伝統・文化のよさをより一層感じ、日本の伝統・文化を大切にしてほしいと思います。

今年も、子供たちが、元気に、楽しく幼稚園での生活を送ることができるよう保育を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今年も、本園の教育活動への、より一層のご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。